

2025 年度 長浜バイオ大学における動物実験実施報告

長浜バイオ大学
学長 伊藤 正恵

長浜バイオ大学では、科学的観点、動物愛護の観点及び環境保全の観点並びに動物実験等を行う教職員・学生等の安全確保の観点から「長浜バイオ大学実験附属施設規程」を定め、動物実験の適正な実施及び実験動物の適正な飼養・保管を行っています。また、動物実験委員会では、動物実験責任者から提出される実験計画書から実施報告書までを審査し、適正に動物実験が実施されるよう審議・調査ならびに助言を行っています。

2025 年度長浜バイオ大学において行われた動物実験について、長浜バイオ大学実験附属施設規程第 26 条(情報公開)に基づき、下記の通り報告します。

1. 動物実験数

2025 年度の動物実験計画申請書の審査後、29 件が承認され 23 件の実験が実施された。
なお、6 件は実験が行われなかった。

2. 実験動物使用数

マウス 2,382 頭、ラット 154 頭、両生類・魚類約 6,600 匹

3. 飼養保管施設・実験室

マウスやラット類の飼養及び実験は、十分なクリーン度・環境が維持され、逃亡防止策(扉へのねずみ返しを設置、隙間へのシーリング)が講じられた実験附属施設内で実施された。

4. 実験報告書及び自己点検評価

承認された 29 件の実験について、下記の自己点検項目に基づいた動物実験報告書が提出された。
提出された動物実験報告書は委員会にて確認し、いずれも適正に実験が行われたことを確認した。
(動物実験実施報告書自己点検項目)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1) 動物搬入時に事前に搬入願で申請されたか | 7) 飼育環境を清潔に保てたか |
| 2) 申請計画通り動物実験が行われたか | 8) 苦痛軽減の措置は適切であったか |
| 3) 申請計画通りの使用動物数であったか | 9) 安楽死法は適切であったか |
| 4) 必要最低限の動物数であったか | 10) 動物の死体は適切に保管・廃棄したか |
| 5) 飼育した場所は適切であったか | 11) 動物慰霊祭に参加したか |
| 6) 適切に動物を飼育したか | 12) 教育訓練受講日 |

5. 慰霊祭

2025 年度長浜バイオ大学実験動物慰霊祭が、2026 年 2 月 5 日(木)に命北館大講義室2にて、254 名の参加者のもと行われた。本慰霊祭は、本学の研究・実習に貢献した実験動物を供養し、また実験動物に対する感謝の気持ちを忘れないように、毎年行っているものである。学長の挨拶に続き、動物実験委員長より 2025 年度の実験報告と現在の実験動物飼育状況の報告が行われた。参加者全員で 1 分間黙祷し、研究のため尊い犠牲となった動物に感謝の念を捧げるとともに冥福を祈った。

6. 教育訓練

動物実験の適正な実施及び実験動物の適正な飼養・保管を行うため、これらに関わる全員に対して、毎年教育訓練を行っている。2026 年度向けの教育訓練は、実験動物慰霊祭後に実施し、2026 年 6 月末までに 241 名が受講を完了した。(内訳:学部学生 176 名、大学院生 33 名、教職員他 32 名)

以上